

今回は、シングルマザー・家族への支援団体との交流の報告です。

参加者 河合優成 森 省一 平澤瑚乃海 森 柚衣奈 (2年7組)

## ◇ 「シングルマザーとその子どもたちの会 フリーリー」とは？

フリーリーは、シングルマザーやその子どもたちの助け合いや支援のための団体です。

シングルマザーとその子どもたちの行き詰まり感や生きづらさの解消、参加者相互の親睦、必要なときに共に助け合える仲間づくり、自分らしい人生を生きるための勉強会などの活動を行っています。各務原市を拠点に、毎月第2日曜日「シングルマザーのお茶会」を開催し、ざっくばらんにお話できる場を設けています。

2020年より、支援を必要とする子育て世帯へ子ども宅食事業「ぎふ各務原・子ども宅食ほっぺ便」を開始し、食糧支援だけでなく、シングルマザーの生きる力の回復のため、マイクロソフト社の協力を得て「ひとり親 TECH エンパワメントプログラム」の提供も行っていきます。

<http://singlemams-freely.com>

今回、フリーリー代表の山下栄子さんが、学校でセミナーを開いてくださったり、「シングルマザーのお茶会」に誘ってくださったりと、色々とお世話をしてくださいました。

## ◇ 支援団体フリーリーの皆さんとの交流会に参加しました！

きっかけは、夏休み中のフィールドワークです。

教育格差をなくすには… そう考えた生徒の有志4名は、フリーリー代表の山下栄子さんに連絡を取り、夏休みにお話をうかがいに出かけました。山下さんのもとを訪ね、シングルマザーやその子どもたちをとりまく厳しい環境について、具体的なお話をうかがいました。

まだまだ色々話を聞きたい。そう考えた生徒たちは、仲間を増やし、山下さんを学校に招いてミニ勉強会を開きました(令和5年1月24日、右写真)。山下さんは、高校生の質問に対し、ひとつひとつ丁寧に答えてくださいました。

セミナーの中で、さらにこの問題に対しさらに認識を深めるため、実際に子どもたちと触れってみようということになり、「シングルマザーのお茶会」に参加させていただくことになりました(令和5年3月12日、下写真)。



飲み物やお菓子を交えたお母さんたちとの語らいは、リラックスした雰囲気の中で行われました。子育てと仕事の両立の大変さ、進学に伴う困難や悩みなど、切実なお話をうかがう貴重な機会となりました。

保育園・幼稚園児から小学生までの子どもたちとは、部屋の中で、ブロックやおもちゃを使って触れ合えました。また機会をつくって、お茶会に参加する予定です。